

五穀豊穰を祈願して

田植祭の田植舞だよ



議会だより

い

と

だ

第49号

令和8年
3月定例会

令和8年5月発行
(2026年)

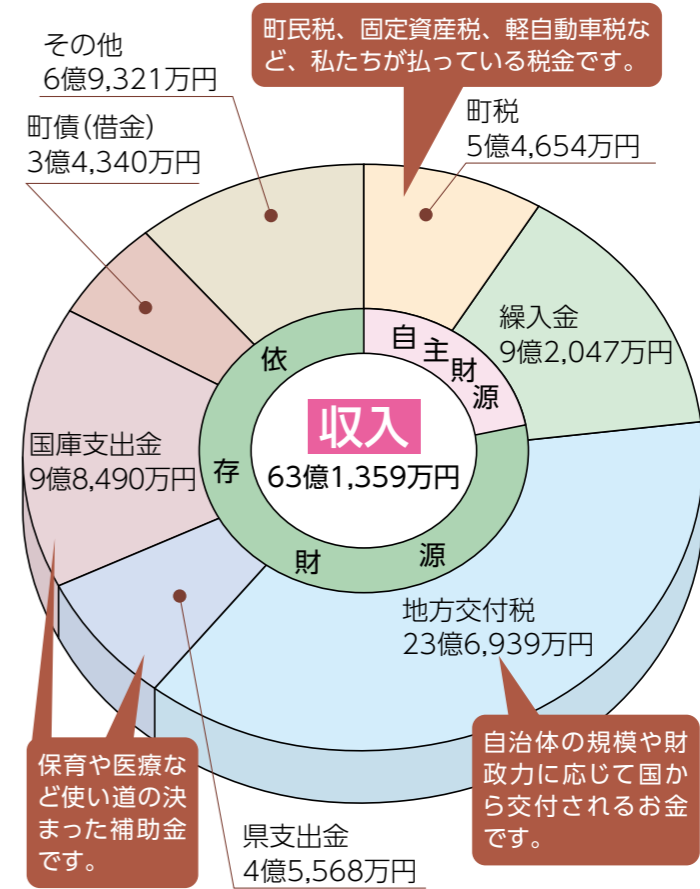
福岡県糸田町議会

p 2 令和8年度予算

p 4 一般質問(町政を問う)

p14 委員会審査

p18 まちはどうなっちょうと



3月議会定例会は、3月4日から19日までの16日間の会期で開かれた。町提出議案は23件で、条例一部改正、補正予算、令和8年度一般・特別会計などを審議。

令和8年度一般・特別会計予算など6会計については、各常任委員会に付託し、集中審査をした。

(委員会の詳細は14〜15ページへ)

建設費等の減少で一般会計は昨年より約5億7万円減少したよ

01 注目の事業をピックアップ!

金山アジサイ園周辺エリア 観光資源形成基本構想策定 業務委託料 約598万円

観光地として利用されている金山アジサイ園の駐車場周辺について、公園化を目指し、基本構想を策定するための委託費用。

元気になれる体操教室 講師謝金 約58万円

町立病院の理学療法士を活用して、医学的なものも含めた運動機能教室を開催するための費用。

定住促進補助金

住宅家賃補助を廃止して、定住促進と空き家対策を兼ねた新たな施策で、町内の住宅取得費等を補助するもの。上限は基本50万円。

三親等内が所有する住宅等は補助から除外となる。

また、空き家バンクを活用した際は上記施策とは別の助成金もあるので、詳しくは地域振興課へ。(電話：26-4025)

14〜15ページの委員会審査にも新規事業を載せているよ

小・中学校給食費無償化

令和8年度から全国の小学校で給食費が一律無償化となり、糸田中学校についても地方創生臨時交付金を活用して給食費の無償化を併せて実施。

在宅人工呼吸器使用者非常用電源 導入費補助金 13万円

在宅人工呼吸器の利用者に対して、停電時でも電源供給を賄うために電源装置を買うための費用を補助する費用。

骨髄等移植ドナー助成金 20万円

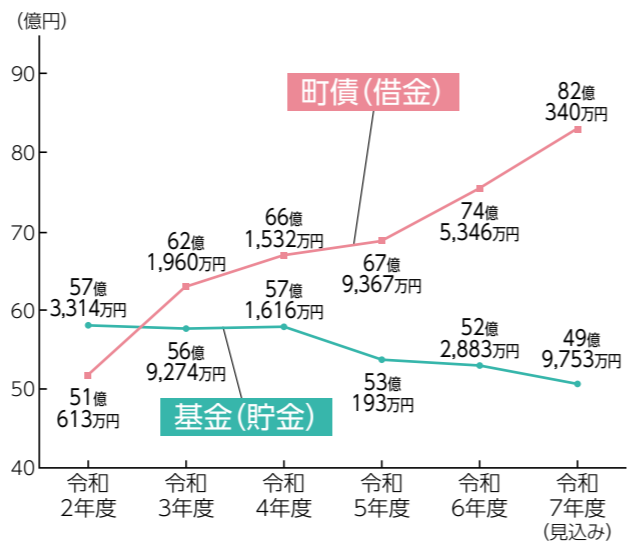
骨髄ドナーとして提供する側の経済負担の軽減をするための費用。1日2万円、10日間を限度とする。

こども誰でも通園制度

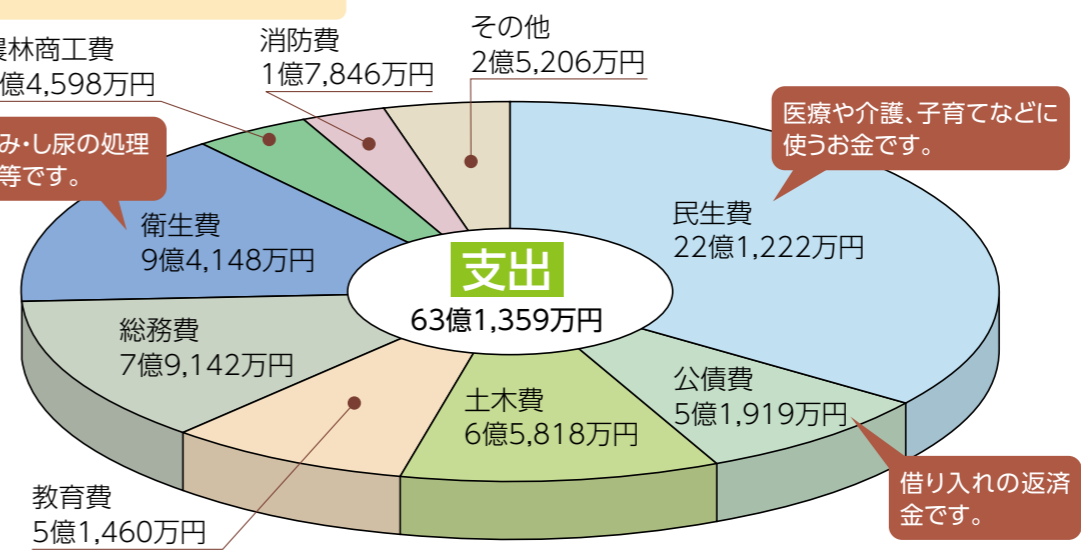
子育て世帯を支援するため、親の就労状況に関わらず、未就園児を時間単位で保育所に預けられる制度。

対象：0歳6か月〜満3歳未満のこども
時間：1か月に10時間まで
料金：1時間300円
※町内在住者は実質無料。

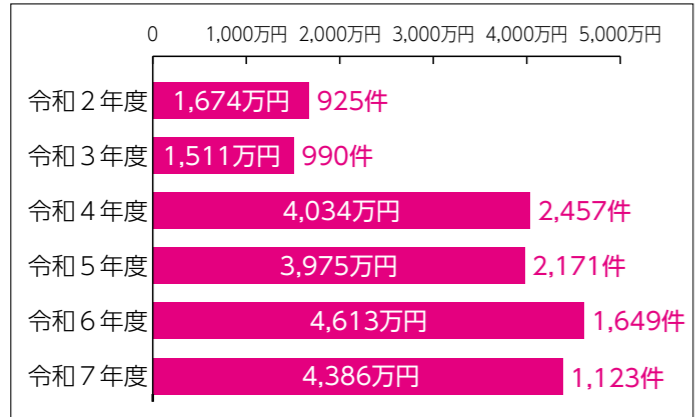
02 貯金と借金の状況は?



借入金である町債は、宮床団地建替事業等の影響で増額傾向となり、基金も数年間減少傾向となっている。



POINT 03 ふるさと寄附金は 昨年度より減少



令和7年度は令和6年度より約230万円減額となった。執行部より、令和8年度は1億円を目標とすると説明があった。

令和8年度 糸田町が負担する 一部事務組合の負担金一覧

田川郡市町村で構成されている組合のことで、水道やごみ処理などの施設を共同で管理しているよ。糸田町の議員もそれぞれの組合議員になって予算のチェックなどを行っているよ。

- 下田川塵芥センター等解体費負担金 約4,016万円
- 田川地区消防組合 1億3,133万円
- 田川広域水道企業団 6,130万円

※田川地区斎場組合は3月31日をもって広域環境衛生施設組合と統合となった。

- し尿処理・ごみ・埋立処理施設関係
- 田川地区広域環境衛生施設組合 約9,575万円
- し尿・ごみ・埋立処理施設建設事業負担金 約5,495万円

糸田町の財政力指数 0.22 昨年度比 横ばい

指数が高いほど財政力が強いことを示している。糸田町は県内の順位でも低く、収納率の向上など財政基盤の強化が求められる。



やまだ よういち
山田 陽一



動画はこちらから

町政を問う

町政を問う!!



3月定例会では、9人の議員が※一般質問をおこない、活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容は5ページから13ページです。

一般質問

各ページに掲載している二次元コードから、一般質問を動画で視聴できるよ



問 公正・公平・平等で差別のない町政について

問 実施できていない課があるか。

答 町長 意図的に差別する課などあり得ない。住民に誠実に対応

答 弁護士対応の案件なので答弁は差し控える

答 町長 これは弁護士対応の案件なので答弁は差し控える。

問 一事例として、タマネギ倉庫に数年前は自動販売機が設置されていた。町民が南糸田地区の町有地に、自動販売機を設置させてほしいと申し出たら、駄目だと言われている。なぜタマネギ倉庫は良いのか、指摘されたので、その後撤去している。町民が不平等を感じる点を多々町に尋ねているが、回答は曖昧なもので、明確に説明していない。
私は町が差別していると感じる。

している。

問 ハラスメントの対応について

答 過剰な動きを止めるのが前提

問 町民が職員を長時間拘束することにより、体調を崩して休職に追い込まれたというカスハラがあったなら、町が提訴し事件として取り扱うべきではないか。

答 町長 何でもかんでも事件にするのが果たして良いのか、過剰な動きを止めるのが前提。町民に対して、今までもおこないについて反省していただく意味合いで通知を出している。

山田 要望 カスハラの実態があるなら、課題として取り組んでほしい。

これも質問

問 竹粉碎機の購入日。貸出し開始日実績は。

答 副町長 令和7年6月9日購入。令和7年11月19日7件。

問 重度心身障害者見舞品事業、令和7年度から中止になったが見直しを問う。

答 健康福祉課長 要望はあったが、新年度予算は計上していない。

自覚無く“カスハラ”しているかも？

こんなことしていませんか？

言ってるだけや！

おしこべり好きだけ

このくらい言えよ！

世の中に応えるべき

役場の階段に掲示しているポスター

糸田町

森下 喬廣 (10ページ)

- 耐震補強工事が不可能な理由は
- 宮床の大雨浸水について抜本的な対策を
- 交通安全の啓発活動の強化方針は。
- 子どもの遊び場の将来進むべき方向は。
- 枝木の越境について、強い指導をおこなう考えはあるか。

山田 陽一 (5ページ)

- 公正・公平・平等で差別のない町政について
- ハラスメントの対応について
- 重度心身障害者見舞品事業、令和7年度から中止になったが見直しを問う。
- 竹粉碎機の購入日。貸出し開始日実績は。

谷口 輝昭 (11ページ)

- 犬のふん等の迷惑条例の設置について

小嶋 康子 (6ページ)

- 高齢者、障がい者へのごみ出し支援
- 手話施策推進法に基づく本町の取り組み

早麻 雄三 (12ページ)

- 「稼ぐ役場」へと塗り替える覚悟があるか
- 空き家問題の今後の対策は
- 糸田小学校から皆添橋の交通渋滞の現状認識と具体的な対策案は。

竹田 照美 (7ページ)

- 移転するのに十分な説明ができたのか
- 今後、団地住民の声を聞いていくのか

仲島 誠一 (13ページ)

- 学用品(お道具箱)の代替の可能性について
- 体操服を小中統一にしてはどうか
- ランリュックについて検討してほしい。
- 中学進級時に入学支度金の配布を。

松瀬 征行 (8ページ)

- 平成筑豊鉄道運営は鉄道上下分離案採択を要望する
- 「自主財源」向上に向け令和8年度の取り組みは

木下 智康 (9ページ)

- 入学時在学中の金銭的サポートについて

※一般質問／議員が町の行政全般について、質問、政策提言をおこないます。糸田町議会は、一人50分以内でおこない、議会だよりには、各議員が要約したものを掲載しています。

執行部

総務課	防災管財課	税務町民課	地域振興課	人権推進課	教務課	健康福祉課
子育て支援課	建築課	土木課	町立緑ヶ丘病院			



竹田 てるみ



動画はこちら

問 今移転をどんどん進めているが、この移転をするのに、団地住民に納得のできる十分な説明がされたのか。

問 移転するのに十分な説明ができたのか

答 今後も住民の皆さんに理解してもらえる説明をする

今後、集約化となっている団地においては十分な説明をおこない、住民の皆さんに理解してもらえるよう説明していきたい。

答 今回の移転に関して、住民説明会を令和6年11月に2回開催し、説明会では、対象団地の現況、宮床団地の入居に関する詳細および移転費用について説明した。移転はあくまで強制ではなく、説明会に参加されなかった入居者に対しては、事前に配付した説明資料を通じて内容について理解を深めたものと考えている。

答 人口減少が続く中、公営住宅の長寿命化計画の中で、集約化も避けて通れない状況があるのかなと考えている。

ただ、住居というのは生活の基盤なので、やはりそこに住んでいる住民の皆さん方の意見も十分勘案しなくてはいけない

問 今後この計画を進める中で、団地住民の声を聞いていくのか。堀川団地住民の声を聞いてもらい、町長自ら現場視察してもらい、どういうふうにするか、考え方を聞きたい。

答 今後も住民に理解してもらえる説明をしていく

こともまた反面事実なので、どういう手法で集約化するのがいいのかも含めて、いろいろな課題があるのかと思う。

うしてもある程度すべての団地をきれいにしているのは、財政的にも人口的に考えてもちょっと厳しいので、ある程度集約をしながらこの住宅政策を考えていかざるを得ない。生活の基盤である住居、そこに住んでいる方々の意見は当然十分に参考にしながら考えていきたい。



▲ 堀川団地 近影



小嶋 やすこ



動画はこちら

問 高齢者、障がい者へのごみ出し支援

答 収集運搬の業者に協力をいただき実施したい

どのように進められたか。相談窓口も設置してもらいたい。

問 階段がある家の方などから、回収場所まで抱えていくことができない。ごみを整理して出したいが量が多くて困っている。粗大ごみ、たんすやベッドなど、大きなものが家から運び出せない。ごみの分別がよく分からないなど様々にごみのごで悩んでいる方がいる。

答 4月実施に向けて準備をおこなっている。集積場所まで距離がある、坂道の上や下、階段の上っていうことも考えられるので、その方を対象に、決められた日週1回、玄関前までごみの回収に伺おうと考えている。

答 手話のできる職員が2名いる

問 手話施策推進法に基づく本町の取り組み

答 手話のできる職員が2名いる。



▶ イメージ写真

障がいのある方など、歩いてごみ出しをすることが困難な方について対象とするように考えている。ごみが出てない場合については声かけもおこなっていききたい。申請書を出し、簡単な面談をおこない、職員が現地を訪問後、決定する形をとりたい。粗大ごみは今後検討したい。

問 手話施策推進法が制定され、全国的に手話の理解と普及が進んでいる。

行政窓口の対応はどのようになっているか。オンライン手話通訳の導入や、職員への手話研修の実施、全国手話検定試験の受験料補助などについて問う。

口でのオンライン手話通訳は直ちに導入、設置を考えていない。住民向けは、手話教室、隣保館で手話講座、町内保育園で定期的な手話学習の機会がある。

職員研修は、手話教室等への参加を促す。町職員全体で考えれば、人事部局との研修協議が必要になる。検定試験の補助は、多くはないが実施している自治体があるので、参考に研究してみたい。



木下 ともやす



動画はこちら

問 入学時在学中の金銭的サポートについて

問 今年以降入学者数は40〜50名で横ばいが続く試算になっています

答 何もかも行政頼りはよくないと思う。中学入学時に祝い金をだしてほしいという要望を上げているが、いまだに叶っていない。今、物価高で給料が上がらないどころか税金が増え、逆に手取り、収入が下がっている状態が続き、生活もままならない方々がいる。今年の入学者数は、小学校46名ということで、前年比30名近く少なくなっている。現在の2年生が73名、単純計算で365万円今年入学の1年生は46名で230万円の祝いとなり、約135万円予算的に余ることになる。約3万円ほど一人

答 何もかも行政頼りはよくないと思う



▲ 金田駅に停留している車両

問 平成筑豊鉄道に関するパブリックコメントの募集方法、集約された状況は。

答 僕は平成筑豊鉄道運営は、鉄道上下分離案採択を切望する。最悪でも線路バス高速輸送システム(BRT)案に努力していただきたい。理由は、①鉄道運行

答

全員協議会の中で十分説明する

問 平成筑豊鉄道運営は鉄道上下分離案採択を要望する

答 僕は平成筑豊鉄道運営は、鉄道上下分離案採択を切望する。最悪でも線路バス高速輸送システム(BRT)案に努力していただきたい。理由は、①鉄道運行



松瀬 まさゆき



動画はこちら

町政を問う

問 私は平成筑豊鉄道運営は、鉄道上下分離案採択を切望する。最悪でも線路バス高速輸送システム(BRT)案に努力していただきたい。理由は、①鉄道運行

答 詳細は、全員協議会の中で伝える。3月中旬までに示す。

は各駅に駅舎があり屋根やベンチがある。風や雨などに対し、学生や高齢者等一般利用者にとって安全安心だ。②時刻が正確で目的地に早く到着する。路線バスにすると、①バス停は屋根やベンチがなく強風や雨、猛暑等にさらされ傘や帽子が飛ばされる等不安全である。②トラック等他車との接触で人身事故が発生し危険だ。③交通事故等で車の渋滞が発生し、運行が一時ストップする等時刻が不確実のリスクがある。以上の理由で、鉄道上下分離案採択がBRT案の運営にすべきだ。

問 「自主財源」向上に向け令和8年度の取り組みは

答 自主財源の確保は非常に大きな課題だ

問 1億円の目標達成には、ヒット返礼品等必要と考えるが、総括的に問う。 答 令和8年度のふるさと納税の取り組みとして、ふるさと寄附金の目標額1億円達成に向け、地域の特産品の発掘や県内の多くのイベント等を活用したPRに努める。

問 本町の財政力指数は県内31町村中28番目と低い指数で、財政基盤の強化が求められている。それには「自主財源」向上が必要で、令和8年度の取り組みの計画等を問う。 答 住民税は約500万円減収等、様々な減収の中、税収確保のため滞納分徴収を前年度より徴収率をアップさせ

答 詳細は、全員協議会の中で伝える。3月中旬までに示す。

答 地方税の減収等の確保も難しい中、徴収率アップに努め「自主財源」確保に向け、ふるさと納税の目標達成に努力する。

松瀬 要望 糸田町は狭いのは無理だ。例えばプール跡地の遊休地や、町有地を整備し売却する等「自主財源」確保に向け努力されることを要望する。

問 在学中サポートとして、給食費、学業費、修学旅行費など補助をする就学支援制度がある。今半数以上の子が就学支援を受けている。残りの約4割の家庭においても給食費は無償になったが、学業費や修学旅行費を町で負担できないか？ 答 就学支援制度はギリ



▲ 糸田小学校

答 予算というのは考えていない。お金の浮いたからその事業を増やすとかそんな話ではない。町の財政は限られている。ある程度の予算の範囲内で考えていかなければならない。 問 すべて行政に頼るのがいいのか、 答 りあたらぬ家庭が一番きつい。1万、2万でも超えた場合受けられない。町全体で子育てしていくと町長は言っていたが、このような所から寄り添っていくのが大事ではないかと私は思うが。

木下 意見 私とは真逆の考えだと思ふ。子どもを産みたくてもお金がないから産めない。これは行政が寄り添ってやらないと厳しい国、世界になってきていると私は思う。

困っているところには準要保護世帯ということになって就学援助をおこなっている。やはり自立していることは大切なことだ。何もかも行政に頼って、「はい、いいですよ」という話には私はならないと思う。



あき てる 谷口 輝昭



動画はこちら

問 犬のふん等の迷惑条例の設置について

問 住民から犬のふん等の苦情が複数上がっている。毎朝家の

答 早い時期に制定できるよう協議を進める

前、道路や川土手の道や農道、公園に犬のふんが放置され美観が損なわれている。また、子どもを安心して公園で遊ばせることができないなどの苦情の報告がある。犬のふんや尿は、放置をすると悪臭や衛生問題となり、地域の環境を悪化させる。公園などは小さな子どもたちが遊ぶ公共の場であり、思いがけない感染症にかかるおそれも考えられる。また、犬のふん等で住民同士が感情的

答 犬猫の飼い方、ふん尿の問題は、町にも苦情が入っていて、条例の制定に向けて準備を進めている。糸田町には環境美化条例があり、空き缶やたばこの吸い殻等の散乱を防止するため、町、住民の責務を規定しているが、ふん尿について等の定めはな



ひろ たく 森下 喬廣



動画はこちら

問 耐震補強工事が不可能な理由は

答 不可能ではないが診療をおこなないながらは困難

問 令和5年度の経常損失、令和6年度、令和7年度の純損失について、その原因は何であるとの考えで、また、それらを解消するための方法は何かあるか。

で幾ら程度かかるのか。

答 概算で約1億円から1億3千万円の費用がかかる予定だが、それだけでは済まない可能性がかなり高い。

問 耐震補強工事が不可能である理由は。

答 赤字の大きな要因は入院患者が減っていることにある。医師の体制の問題で悪循環に陥ってしまった。医師を確保できたので、患者数増加のための方策や新たな診療報酬の取得を実施していく。

答 診療をおこなないながら実施するというのはかなり困難で、工期が長くかかる。設備の劣化がかなり激しくなっており、耐震補強だけでは改善できない。現地での経営を続けるということが限界に達している。

問 宮床の大雨浸水について抜本的な対策を

答 水害対策のさらなる対応を検討する

問 宮床地区の住民は浸水被害に不安な日々を過ごしている。被害の発生回数とその被害状況、頻発する原因は。

答 平成24年は床下浸水が44世帯。平成30年は総雨量が大きかったことから道路冠水が発生した。

問 交通安全の啓発活動の強化方針は。

答 いろいろな形を通じて啓発活動をおこなっていく必要がある。

問 子どもの遊び場の将来進むべき方向は。

答 管理面などの課題は、地域おこし協力隊によりクリアする考えである。

問 枝木の越境について、強い指導をおこなう考えはあるか。

答 行政介入というより、積極的に管理を促していく。

答 ポンプを活用して対策ができないか検討されている。地区の防災計画の作成に向けて今後調整を進める。



平成24年大雨災害時宮床地区

問 しゅんせつなどの計画の進捗と、激甚化する大雨に対し抜本的な対策を検討すべき時期ではないか。

答 河道掘削を実施。流域流量調査を基にさらなる対応を検討する材料にする。

問 高齢化で自力での迅速な避難が困難な方も多い。具体的な避難支援体制について町はどう主導していくのか。

答 避難行動要支援者のうち登録者はおよそ120名。区長や民生委員と連携し迅速に支援がおこなえるよう取り組んでいる。



町内に設置してある看板

町政を問う

町政を問う



なかしま せいいち
仲島 誠一



動画はこちら

問 学用品(お道具箱)の代替の可能性について

答 課題はあるが実現可能性について検討したい

問 学用品の必要性や代替の可能性等を検討し、保護者の経済的負担を減らす対策が必要である。タブレットで計

問 お道具箱に関して卒業生たちに、再利用を呼びかけ、1年生にリユース式に使用していくことはどうか。お道具箱の失くなった

答 タブレットと紙教材の長所を踏まえ、バランスよく組み合わせる学習を進めることが重要だと考えている。

算セットアプリ等を使うのはどうか。お道具箱やドリル等必要な教材を買わずに済む。学年により、掛け算アプリ、地図パズル等使うのはどうか。

部品は余ったお道具箱から補充するとか、再利用式に使用していくことはできないか。

答 寄附を受け付けて再利用することは保護者負担の軽減、廃棄物削減による環境負荷の低減に効果が期待できる。一方、寄附のお道具箱等の内容物の個数確認、補填、保管場所確保等、教職員の負担増加が懸念される。

課題はあるが、実現可能性について検討していきたい。



▲ 現在児童が使用しているお道具箱



はやま ゆうぞう
早麻 雄三



動画はこちら

問 「稼ぐ役場」へと塗り替える覚悟があるか

答 今後も真摯に取り組んでいきたい

問 「稼ぐ役場」への構造改革を。ふるさと納税を一施策の強化にとどめず、町全体の収益を最大化させる司令塔へ昇華させるべきだ。ネーミングライツの対象を町道や公式SNS等へ拡大し、未利用地や稼働率の低い施設の売却等で「負の遺産」から将来の固定資産税収入へ繋げる考えは。民間経営感覚を持つ専

門人材を積極的に雇用し、増収額等の明確なKPIを掲げ、町長がトップセールスとして先頭に立つ覚悟を問う。

答 外部人材は地域おこし協力隊等を活用中。ふるさと納税は令和8年度に1億円の収入を目指す。ネーミングライツは他自治体で導入が進むが、本町では地域性や企業側のメリット

外部人材は地域おこし協力隊等を活用中。ふるさと納税は令和8年度に1億円の収入を目指す。ネーミングライツは他自治体で導入が進むが、本町では地域性や企業側のメリット

問 空き家問題の今後の対策は

答 改正法に基づき空き家解消に向け取り組む

問 放置された空き家は防犯・防災上の

リスクとなり地域の活力を損なう。直近の調査による総数や特定空き家等の増減傾向、解体費用の補助や空き家バンクの実績、周知状況は。所有者の意思や経済状況等の課題に対し、改正空き家法を活用し、管理不全空き家への予防的処置の強化や、空き家を移住・定住促進の資源として活用する攻めの対策をどう描くか。

答 空き家総数は減少傾向だが、状態の悪いD判定は増加傾向にあり、特定空き家等に該当する可能性が高い。対策として14件が除却に至り、成約奨励金やリフォーム等の助成も進めた。現場では相続人が多岐にわたる等の限界もあるが、相続登記の義務化や改正法に基づき、法の趣旨のつとより、所有者の把握を円滑に進め、空き家解消に向け取り組みを推進する。

これも質問

問 糸田小学校から皆添橋の交通渋滞の現状認識と具体的な対策案は。

答 朝と夕の渋滞は深刻な課題。信号の改善や調査、検討を進める。

▲ 夕方に渋滞する皆添橋付近

問 体操服を小中統一にしてはどうか

答 検討できるところは検討していきたい

問 体操服を小中で統一にしてはどうか。中学に上がる際、体操服を新たに購入する負担も減り、統一にしておけば体が大きくなる6年生時でもいつでも買い換えができるし、お下がり幅も広がると思う。

答 買い換えの時期

者負担の軽減につながる可能性はある。一方、中学校の体操服に合わせる方が効率的ではないかと考えられるが、現行の中学校体操服は小学校より

高額で、保護者負担が増えることが見込まれる。販売業者に確認したら、中学校の体操服には小学校低学年向けサイズがなく、小学校への適用は現実的でない。体操服の変更には保護者や教職員を含む検討委員会において、十分協議する必要がある。

答 お道具箱、体操服それぞれ課題はあるが、具体的な提案であるので、検討できるところは検討していきたい。

これも質問

問 ランリユースについて検討してほしい。

答 一応周知はするが、あとは保護者任せ。

問 中学進級時に入学支度金の配布を。

答 今の時点では考えていない。

総務文教振興常任委員会

審査・調査対象の課：総務課・防災管財課・税務町民課・地域振興課・人権推進課・教務課
委員長：中原 副委員長：早麻
委員：山田・小嶋・木下・井手元

小・中学校タブレット購入費 4,902万円

教務課

説明 小・中学校で使用している学習用タブレット端末の更新に係る費用。



町民グラウンド関連

教務課

町立病院建替事業に伴うものだよ

戸石グラウンド改修工事 家屋調査委託料 約770万円

説明 代替地として戸石グラウンドを整備するにあたり、周辺家屋への影響を確認するための事前調査を実施する費用。

糸田町民グラウンド 代替地利用補助金 約67万円

説明 町民グラウンドを従来利用していた団体に対し、他市町村のグラウンド使用料や代替施設の利用料を補助するための費用。



▲ 戸石グラウンド

オンライン国際交流事業委託料 約176万円

教務課

説明 国際交流の一環として、糸田中学校の生徒が台湾の生徒とオンラインで交流する事業のための費用。海外の同年代との交流を通じて、英語に触れる機会をを広げ、語学力の向上を図ることを目的としている。



WEB版ハザードマップ配信料 約8万円

防災管財課

説明 防災ハザードマップを住民がいつでも手軽に災害リスクを確認できるように、インターネット上で閲覧できるようにするための使用料。



自転車用ヘルメット購入費補助金 4万円

防災管財課

説明 自転車乗車時の安全対策として、ヘルメット購入費の一部を補助するための補助金。補助の上限は購入費用の2分の1(上限額2,000円)を限度とする。また、一人1個まで等の条件がある。



糸田庁舎等空調設備改修工事 約8,214万円

防災管財課

説明 糸田町庁舎および住民センターの空調設備を改修するための費用。令和7年度から継続事業となっている。



3月9日に建設厚生常任委員会、3月11日・13日に総務文教振興常任委員会を開催し、一般会計当初予算含む20議案(人事議案は除く)の審査をおこない、定例会最終日に各委員長から報告。
一般会計については、令和7年度の補正予算案として、当初予算から歳入歳出それぞれ1億389万2千円減額となり、総額が歳入歳出それぞれ70億6千733万4千円となった。

令和8年度の当初予算額は2~3ページを見てね



建設厚生常任委員会

審査・調査対象の課：健康福祉課・子育て支援課・土木課・建築課・町立病院
委員長：竹田 副委員長：松瀬
委員：谷口・白銀・仲島・森下

公立保育所のあり方検討及び再編計画委託料 約712万円

子育て支援課

説明 出生児童数の減少や施設の老朽化を踏まえ、公立保育所のあり方について調査研究を進めるための費用。



五反田線道路改良工事 8,157万円

土木課

説明 通学路の安全を確保するため、町民会館前から中学校までの道路を拡幅するための工事費用。現在の道路の様子は18ページへ。



団地関連

建築課

真岡団地建替に伴う解体及び造成等工事 約1億1,372万円

説明 真岡団地建替えをおこなうための工事費用。令和8年度は、真岡団地建替真岡団地6棟(9~14号棟)の解体工事および東棟建設に向けての造成工事を実施。

宮床団地建替に伴う測量調査設計等委託料 約5,533万円

説明 宮床団地E棟工事による影響が周辺家屋におよんでいるかを確認するための調査費用。
また、新たに駐車場を確保するため、整備に必要な設計業務を委託するための費用となる。

妊婦のための支援給付金 500万円

子育て支援課

説明 出産・子育ての支援として、妊娠届出時に5万円、出産時に5万円の計10万円を支給する。現金給付またはカタログギフトのいずれかを選択でき、カタログギフトを選択した場合は、それぞれ5千円分のポイントが付与され、合計で11万円相当の商品を選択することができる。



補助金関連

建築課

木造戸建て住宅耐震改修補助金 60万円

説明 旧耐震基準で建てられた木造住宅の耐震改修工事に要する費用の一部を補助するもの。上限は60万円。

太陽光発電設置補助金 64万円

説明 持続可能な循環型社会の実現に向け、住宅用太陽光発電システムの設置費用の一部を補助するもの。上限は8万円。

三世代同居住宅支援事業補助金 100万円

説明 町内の三世代同居を目的とした住宅の新築、改修、購入等に要する費用の一部を補助するもの。上限は50万円。

補助の対象要件や金額の詳細については、建築課まで(電話：26-4020)

議案第17号 令和8年度糸田町立緑ヶ丘病院事業特別会計予算

討論一覧(一部要約・抜粋)

反対討論趣旨 (森下)

本予算案については、住民への説明責任を欠き、実績に基づかない不透明な収支計画に依存しており、到底承認できないものである。

第1に、住民合意を軽視した計画の推進である点である。病院建設費が当初の予定から大幅に乖離している現状にありながら、住民アンケートの実施や説明会の開催といった、住民の理解を得るためのプロセスが十分におこなわれていないと感じている。住民の納得が得られないまま、巨額の公金を投じる姿勢は、行政としての説明責任を尽くしているとは言い難いものである。

第2に、収支計画の信憑性が完全に崩壊している点である。令和7年度の決算見込みにおいて、約2億円もの赤字が予見されている事実は、当局の見通しがいかに甘かったかを明白に示している。これまで、黒字化に向けた施策として掲げられてきたリハビリテーション科や訪問診療の拡充も、結果として現在の深刻な赤字を解消する決定打とはなっていない。過去の諸政策が収益改善に結びついていない現実を直視せず、楽観的な予測を繰り返す予算案に信頼を置くことは不可能である。

第3に、経営改善に対する姿勢そのものへの疑念である。糸田町立緑ヶ丘病院整備基本構想においては、何よりもまず、病院経営の健全化に着手する必要があると明確に記されている。しかし、町長が述べる収益改善策である医事課の新設などが、現時点においてもなお構想段階にとどまっているのは、余りに遅きに失した対応であると言わざるを得ない。本来、経営健全化を最優先とするのであれば、既に実行済みであってもおかしくない施策が、今になってようやく検討の俎上に載るという現状は、当局の経営改善に対する危機感の欠如を露呈しているものである。

公的病院の使命や将来への投資といった言葉を掲げ、期待感のみで不透明な予算を追認することは、将来の町財政に深刻な禍根を残すものである。まずは住民への説明責任を果たし、基本構想に立ち返った実効性のある経営再建計画を提示すべきであることを強く訴え、本予算案に対する反対討論とするものである。

賛成討論趣旨 (谷口)

本予算案は、糸田町立緑ヶ丘病院の運営のための予算であり、病院職員の給与をはじめ、老朽化した病院の建替えに係る実施設計委託業務料等が計上されており、今後のまちづくりを形成する上で重要な予算である。町立病院については、老朽化した施設の中で厳しい経営状況が続いており、短期間での大きな改善は容易ではないと考えるものである。しかしながら、執行部からは、来年度において新たな院長のもとでの組織体制の見直しや医師の増員が予定されていること、また地域包括ケア病床の取り組みにより一定の収入確保も期待されるところであり、厳しい状況ではあるものの、経営改善に向けた取り組みが進められている点は評価できるものである。

町立緑ヶ丘病院が存在することにより町民に安心を与え、福祉の観点からも町立病院は必要不可欠な存在である。一日も早く病院建設に着手し、スピード感を持って経営改善に取り組むべきであると考えられるものである。本予算案は、病院建設と経営改善等を含むものである。関係職員への期待と激励を込め、本予算案に賛成するものである。



動画で討論の詳細が視聴できるよ
右の二次元コードからアクセスしてね



令和8年第1回糸田町議会定例会 (3月4日~3月19日)

件名	結果	詳細
専決処分について(令和7年度糸田町一般会計補正予算)	承認	全会一致
糸田町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	可決	
糸田町乳児等通園支援事業の利用者負担金に関する条例	可決	
糸田町監査委員条例等の一部を改正する条例	可決	
糸田町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決	
糸田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	可決	
令和7年度糸田町一般会計補正予算	可決	
令和7年度糸田町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算	可決	
令和7年度糸田町立緑ヶ丘病院事業特別会計補正予算	可決	
令和8年度糸田町一般会計予算	可決	
令和8年度糸田町国民健康保険事業勘定特別会計予算	可決	
令和8年度糸田町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決	
令和8年度糸田町学校給食センター事業特別会計予算	可決	
令和8年度糸田町後期高齢者医療特別会計予算	可決	
令和8年度糸田町立緑ヶ丘病院事業特別会計予算	可決	
田川郡町村公平委員会共同設置規約の一部を改正する規約	可決	全会一致
福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更について	可決	
第6次糸田町総合計画前期基本計画について	可決	
糸田町過疎地域持続的発展計画について	可決	
人権擁護委員候補者の推薦について	適任	全会一致
人権擁護委員候補者の推薦について	適任	
糸田町教育委員会教育長の任命について	同意	
契約変更請書の締結について	可決	



谷口	白銀	松瀬	早麻	仲島	竹田	山田	小嶋	森下	木下	中原	井手元
											-

□は賛成 □は反対
※議長に表決権はないため「-」としています。
可否同数の場合のみ裁決権を行使します。

議長不信任動議 (3月19日)

内容	結果	谷口	白銀	松瀬	早麻	仲島	竹田	山田	小嶋	森下	木下	中原	井手元
下記のとおり議長不信任案が口頭動議で提出され、議題として取り扱うかについて採決した結果、賛成少数となり議題とならなかった。	結果												
山田陽一議員による議長不信任案	賛成少数												-

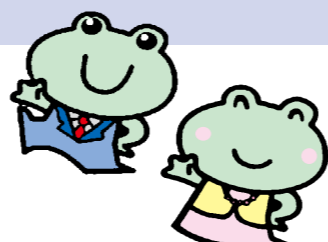
入札結果

工事名	業者名	予定額(円)	最低制限価格(円)	金額(円)	落札率(%)
真岡団地建替に伴う移転先空家補修工事(1工区)	中村総建	9,167,000	8,433,000	8,433,000	91.99
真岡団地建替に伴う移転先空家補修工事(2工区)	タニテック	6,845,000	6,297,000	6,297,000	91.99
真岡団地建替に伴う移転先空家補修工事(3工区)	泌泉建設	4,231,000	3,892,000	3,892,000	91.99

※3工区の入札については、1回目の入札は一者のみで不調、再度の入札でも一者のみで落札となった。

議長交際費 執行状況 (令和8年1月~3月)

日付	摘要	金額
1月7日	香典代および生花代1件	30,000円
2月22日	香典代および生花代1件	30,000円
3月19日	議会から課長職退任者2名への花束代	10,000円
合計		70,000円



研修報告



誰のための議会かを再認識

県議長会主催 町村議会議員研修会(福岡市) 1月9日

◆参加議員

井手元・小嶋・早麻・仲島・森下・中原

本研修では、議会の三つの役割(「行政監視」「政策立案」「住民意思吸収」とチーム議会の重要性を再認識した。議会は行政の追認機関ではなく共同責任者であり、将来を見据えた審査や議員間討議の充実、適切な権能行使、そして住民の意識変革を促す役割を果たすことが不可欠であると理解した。



まちは どうなっちゃうと



町内の現在の姿をお届けするコーナー。今回は今後工事予定の場所をピックアップと全員協議会で議題となった平成筑豊鉄道についての今後は報告。

平成筑豊鉄道、路線バス案に決定



糸田町は財政状況を鑑みて路線バス案を支持。

福岡県の令和8年3月24日の第9回平成筑豊鉄道沿線地域公共交通協議会において正式に路線バス案に決定したと報告があった。



宮床団地駐車場予定地

宮床団地内の空きスペースに
来客用等の駐車場を整備する
予定だって！便利になるね！



宮床団地用
駐車場の建設予定地 ▶



大熊歩道橋



▲ 撤去予定の
大熊橋歩道橋

大熊歩道橋の撤去については、補助金の対象となることが判明したため、着手時期を令和9年度まで延長することになったよ！



五反田線道路改良工事 (町民会館～糸田中学校)

歩道ができて道が広くなり、カーブが緩和されて通りがスムーズになる予定だよ！



◀ 工事予定の道路
予算は8,157万円



糸田町議会広報常任委員会主催

初 広聴会

いとだばた会議 開催のお知らせ



皆さんの声をまちづくりに生かすため
広聴会「いとだばた会議」を開催します。

班に分かれて、ワークショップ形式でテーマについて
意見交換をおこないます。

テーブルを囲みながら、町の元気につながるアイデアや
地域の課題について、自由に話し合ってみませんか？

※会議は予約制となります。下記のお申込み方法から予約を
お願いします。**お子様の参加も大歓迎です。** (定員：20人程度)

日時・場所

- 令和8年5月22日(金) 午後6時～午後7時30分終了予定
- 糸田町役場 住民センター2階 第2・3研修室

プログラム

- 開会あいさつ・議員紹介(20分)
- 議会だより紹介(10分)
- 意見交換・まとめ(60分)

★テーマ『町を元気にするためには？』

- 移住、定住促進
- 空き家対策 など ※時間は目安です

お申込み方法(下記のいずれかをお願いします)

電話での予約
(平日 午前8時30分～午後5時まで ※祝日を除く)
電話：0947-26-4353(糸田町役場 議会事務局)

インター
ネット
での予約



申込みの締切は5月20日(水)までだよ



こんにちは♡いとだまちぎかいです!

田植祭 (田植舞)



3月15日に金村神社で開催される町民の皆様にとってなじみ深い田植祭。今回は演芸の一つでもある田植舞(早乙女踊り)の踊り手を中心に取材しました。



☆練習風景☆



さーなえー



初日から頑張っているよ



田植舞(早乙女踊り)の起源

昭和3年に早良郡脇山村(現福岡市早良区)の田植神事内で奉納されていた田植え舞の指導を受けて、糸田尋常高等小学校の運動会で女子高学年生徒が舞踊として発表したのが始まりとなる。翌4年田植祭で舞が奉納され、毎年の恒例行事となった。その後は婦人会に引き継がれ、昭和56年から女子児童によって舞われている。(糸田町史より抜粋)



☆本番前☆

緊張する～!



頑張ります!



豊かな実りの年となりますように



☆本番☆



練習の成果を感じる
素敵な舞でした!



議会広報
常任委員会

委員長 小嶋 康子
副委員長 森下 高廣

委員 白銀 秀樹
委員 早麻 雄三

委員 仲島 誠一
委員 中原 詔蔵

議会だよりアンケート募集中!